
(仮称) 中板橋駅周辺地区
まちづくりマスタープラン
[基本構想]

(たたき台)

令和8年3月

中板橋駅周辺地区まちづくり協議会

目 次

1	まちづくりの目標（案）	1
1-1	まちの将来像（案）	1
1-2	まちづくりの目標（案）	2
2	まちづくりの課題（案）	3
3	まちづくりの方針と提言（案）	6

参考資料

参-1	地区の位置づけ（案）	
(1)	地区の位置	
(2)	対象範囲	
(3)	関連計画の位置づけ	
参-2	地区の現況・特性（案）	
(1)	人口・世帯数	
(2)	都市計画等	
(3)	土地利用	
(4)	道路・交通	
(5)	公園・緑地	
(6)	公共公益施設	
(7)	防災	

1 まちづくりの目標（案）

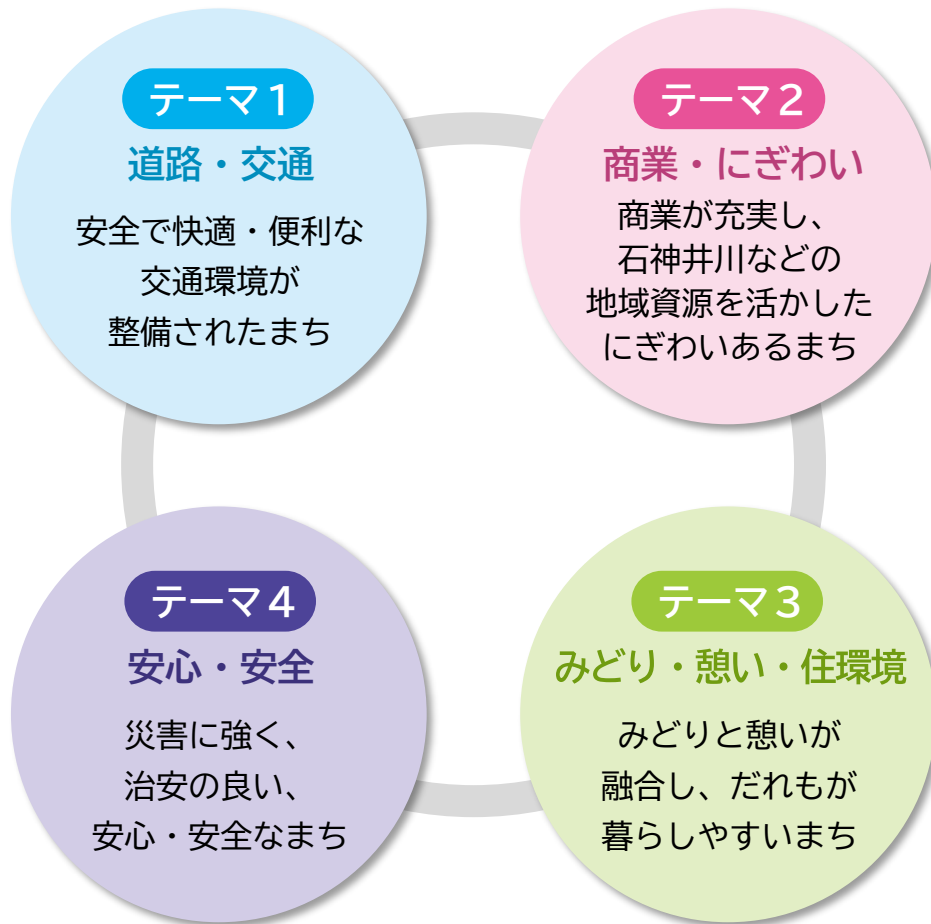
1-1 まちの将来像（案）

■ キャッチフレーズとテーマ（案）

赤字：修正した箇所（案）

案

石神井川の桜がつなぐ
活気あふれるまち なかいた



1-2 まちづくりの目標（案）

目標 1 安全で快適・便利な交通環境が整備されたまち

- だれもが南北を快適に往来できる歩きやすいまちをめざします。
- 人や自転車、車が安全・円滑に移動できるまちをめざします。
- 公共交通が充実した、交通利便性が高いまちをめざします。

目標 2 商業が充実し、石神井川などの地域資源を活かしたにぎわいあるまち

- 商業が充実し、買い物に便利で明るくにぎわいあふれるまちをめざします。
- 石神井川などの中板橋の地域資源を活用し、板橋区内外から人々が集うまちをめざします。
- 地域交流の機会が充実し、多様な世代が交流できるあたたかいまちをめざします。

目標 3 みどりと憩いが融合し、だれもが暮らしやすいまち

- 石神井川などの身近なみどりや自然から季節を感じる、憩いのまちをめざします。
- 落ち着きがあり、だれもが住み続けられるまちをめざします。

目標 4 災害に強く、治安の良い、安心・安全なまち

- 防災対策・防犯対策が充実した安心・安全なまちをめざします。
- だれもがルール・マナーを守るクリーンなまちをめざします。

2 まちづくりの課題（案）

テーマ1 道路・交通

（1）踏切対策の充実

- 歩行者・自転車・自動車の混在による踏切の渋滞・事故の解消
- 踏切による南北の分断の解消

（2）道路・交通環境の改善

- 道路網の見直し・改善
- 交差点の見通しの確保
- 自動車の反対車線へのはみ出しや一方通行道路の逆走の防止
- 狭あい道路の解消
- 歩行者空間の確保・安全性の向上
- 歩きやすい環境の充実
- 自転車の走行空間の確保
- 石神井川沿いの道路の改善
- 自転車利用者へのルールの周知・徹底（スピード・路上駐輪の抑制）

（3）中板橋駅や駅周辺の改善

- 周辺の幹線道路からのアクセス性の向上
- 交通結節機能の充実に向けた駅前広場の整備
- 中板橋駅舎の快適性・利便性・安全性の向上
- 駅周辺の駐輪場・駐車場の充実

（4）公共交通の充実

- 中板橋駅へのバスのアクセス道路の確保・バス路線等の充実

テーマ2 商業・にぎわい

(1) 商店街の活性化

- 商店街における飲食店や店舗等の誘致
- 南口・北口商店街のつながり・回遊性の確保
- 商店街の利用環境の整備
- 商店街組合への加入促進

(2) 石神井川などの地域資源の活用等によるにぎわいの創出

- 石神井川沿いの桜並木の魅力の維持向上・発信
- 石神井川沿いの桜並木に対する愛着心の醸成
- 中板橋の歴史の継承・発信

(3) 地域交流・地域コミュニティの充実

- 地域交流の場や機会の確保・情報発信の充実
- 地域住民の町会加入の促進
- お祭りやイベントの持続・発展

テーマ3 みどり・憩い・住環境

（1）みどりや公園の保全・充実

- 石神井川沿いの桜並木の維持
- 石神井川の自然環境の保全・創出
- 石神井川に架かる橋や石神井川沿いに設置されたフェンスの美化
- 子ども達が球技で遊べる空間や、人々の憩いの場となる公園の確保

（2）住環境の維持・向上

- 若者に対する住宅補助の充実・周知
- 若者や子育て世代のニーズにあった商業・娯楽施設の充実
- 多言語に対応したサインや案内看板の充実

テーマ4 安心・安全

（1）防災性・防犯性の向上

- 密集した木造住宅地の解消
- 防災井戸や避難場所の充実
- 緊急車両の走行空間の確保
- 石神井川の治水機能の維持
- 防犯カメラの整備拡充
- 防災・防犯に関する情報発信の充実
- 子ども達の安全の確保
- 安心・安全に対する意識の維持・向上

（2）ルール・マナーの周知

- ゴミ・タバコのポイ捨てや路上喫煙の防止
- 外国人居住者へのゴミ出しや騒音に対するルールの周知
- 石神井川沿いの桜並木の見物客等に対するルール・マナーの向上・周知

3 まちづくりの方針と提言（案）

[]: 具体的な取組（来年度検討予定）に関するこれまでのワークショップの主な意見

※それぞれの目標に対する方針を今後区へ提言していきます。

赤字：修正した箇所（案）

目標 1 安全で快適・便利な交通環境が整備されたまち

方針1 だれもが南北を快適に往来できる環境の創出

● 踏切の安全性確保と地域の南北分断の解消

- ・踏切による危険性や渋滞、地域の南北分断を解消するため、鉄道の立体化を促進します。
- ・歩行者やベビーカー・車いす利用者等の安全を確保するため、線路の南北を安全・円滑に移動することが可能な経路の確保を推進します。

[鉄道の立体化・バリアフリー化された跨線橋の整備・中板橋駅の橋上駅舎化]

方針2 人や自転車、車が安全・円滑に移動できる交通環境の整備

● 円滑に移動できる道路ネットワークの構築

- ・歩行者や自転車、自動車等の円滑な移動を確保するため、充実した道路ネットワークの構築を図ります。
- ・駅へのアクセス性を向上させるため、環状七号線や川越街道などの幹線道路と中板橋駅を結ぶ道路の整備を検討します。

[環状七号線から中板橋駅に至る一方通行道路の整備]

● 安全な道路空間の形成

- ・交差点等における見通しを確保するため、カーブミラーの設置や隅切りの確保を推進します。
- ・自動車等の反対車線へのはみ出しや、一方通行道路の逆走を防止するために、道路標識・道路標示の改善を推進します。

[中根橋へのセンターラインの施工]

- ・幅員が狭い道路（地先道路）における歩行者の安全を確保するため、通過交通の流入抑制や自動車等のスピード抑制に必要な交通安全対策を検討します。
- ・自転車の走行空間を確保するため、車道への自転車レーンの整備を推進します。

- 交通ルールの周知・徹底

- ・自転車の飛び出しや危険な走行、歩行者空間への路上駐輪を抑制するために、自転車利用者へのルール・マナーの周知・啓発を推進します。

[看板等による交通ルールの周知]

方針3 公共交通の充実・交通利便性の向上

- 駅前広場の整備

- ・中板橋駅の交通結節点機能の充実を図るために、駅前広場の整備を検討します。

- 公共交通の充実

- ・中板橋駅周辺のバス路線の新設・増設等、公共交通の充実に向け、関係機関への働きかけを行います。

- 中板橋駅や駅周辺の機能向上

- ・中板橋駅の快適性・利便性・安全性の向上に向け、関係機関への働きかけを行います。

[駅構内の動線の見直し、エレベーター・エスカレーターの整備、西口改札の新設、ホームドアの整備、駅ナカ商業施設の誘致、案内板・給水機の整備]

- ・中板橋駅の交通結節機能の充実や駅周辺の回遊性の向上を図るため、駅周辺への駐車場・駐輪場の整備を推進します。

[空地を確保した駐輪場の整備、地下駐輪場の整備、都市基盤整備の検討]

- 居心地がよい駅前空間の創出

- ・居心地が良い駅前空間を創出するため、緑化の推進や分煙の徹底を図ります。

目標 2 商業が充実し、石神井川などの地域資源を活かしたにぎわいあるまち

方針1 商業の充実・買い物利便性の向上とにぎわいの創出

● 商店街の活性化・にぎわいの創出

- ・歴史ある商店街の街並みを継承しつつ、まちのニーズにあった飲食店や店舗の誘致、商店街組合への加入の促進、まちづくりのルールを検討などにより、商業施設の充実を図ります。

[容積率の最高限度の緩和、沿道建物への用途制限の導入、いたばしP a yのPR]

- ・商店街や町会などが連携し、南北一体となった活気とにぎわいの創出を図ります。
- ・安心して商店街の利用や通行ができるよう、歩行者空間への店舗等のはみ出しや看板の設置を防止・抑制します。

方針2 石神井川などの地域資源を活用した地域の魅力・集客力の向上

● 板橋十景に選定された石神井川沿いの桜並木の継承とブランド力の強化

- ・石神井川沿いの更なる魅力向上に向けて、快適に桜並木を鑑賞できる空間を創出します。

[ベンチや公衆トイレ等の休憩施設や駐車場、ゴミ箱等の整備]

- ・板橋区内外から見物客を呼び込むため、石神井川沿いの桜並木の魅力を幅広く発信します。

[キッチンカーの誘致、桜並木への愛称の命名、桜並木に関連するイベントの開催、SNS・マスメディア等を活用したPRの充実、イルミネーションの配色の見直し]

● 中板橋駅周辺の歴史の継承と情報発信の推進

- ・中板橋駅周辺の歴史を継承していくために、地域の歴史を学習できる施設や、歴史等に関する情報発信の充実を図ります。

[冊子やホームページの作成、公共施設の活用、歴史館の整備、スマホアプリの開発、史跡（下頭橋等）のPR]

方針3 多様な人々が集い、交流する機会・空間の充実

- 地域交流の場や機会の創出・情報発信の推進
 - ・コミュニティを形成するために、子どもから高齢者、外国人等多くの人々が集い交流できる空間・機会の創出や、情報発信の充実を図ります。
[仲町地域センターの活用、民間のミニコンサートホールの活用、イベントの開催]
- お祭りやイベントの持続・発展
 - ・幅広い年齢層が楽しめるお祭りやイベントの持続・発展により、地域の交流やコミュニティの形成を促進するとともに、にぎわいの創出を図ります。
[縁日の復活、小学校の校庭等を活用したお祭りの開催]
- 地域コミュニティの形成・充実
 - ・地域の子ども達と桜の植樹を行うなど、石神井川の桜並木を通じた地域コミュニティの形成を図ります。
 - ・地域内の居住者やアパート・マンションの賃主等に町会への加入を促進することで、地域コミュニティの充実を図ります。

目標 3 みどりと憩いが融合し、だれもが暮らしやすいまち

方針1 四季が感じられるみどりや公園の保全・充実

● 石神井川の自然環境の保全

- ・桜並木を維持するために、老朽化した樹木の伐採や植替えを計画的に実施します。
- ・石神井川や周辺に生息する生き物にやさしい環境の保全・創出を図ります。
[野鳥のPR]

● 石神井川の周辺環境の改善

- ・安全・快適に石神井川の自然を感じることができる憩いのある空間を創出します。
[路面舗装の見直し、橋周辺の急傾斜の解消]
- ・石神井川のみどりや自然を活かした良好な景観を保全するために、石神井川に架かる橋や川沿いに設置されたフェンスの管理体制の改善や清掃活動の実施など、石神井川周辺の美化推進を図ります。

● 公園の充実

- ・公園の改修・整備等により、子ども達が球技などで、安心してのびのびと遊べる空間の確保を図ります。
[既存の公園の充実]
- ・人々の憩いの場の維持・創出のため、石神井川の沿道に公園の整備を検討します。

方針2 だれもが住み続けられる暮らしやすい住環境づくりの推進

- だれもが暮らしやすい環境の創出
 - ・若者に対する住宅補助の充実・周知や、若者や子育て世代のニーズに合った商業・娯楽施設の充実により、若者や子育て世代が暮らしやすい環境の創出を図ります。
[タワーマンションの規制]
 - ・多言語に対応したサイン・案内看板等の充実により、外国人も暮らしやすい環境の創出を図ります。

目標 4 災害に強く、治安の良い、安心・安全なまち

方針1 だれもが安心する防災対策・防犯対策の充実

● 災害に強い安全なまちづくり

- ・密集した木造住宅地の解消や、防災井戸・消火器、避難場所の充実を図るとともに、案内地図等による周知を行うことで、地域の防災性を向上させます。
- ・災害時における避難経路や緊急車両の走行空間を確保するため、無電柱化や狭あい道路の拡幅について検討します。また、災害時の避難に活用することを想定したレンタサイクルの充実についても検討します。

[都市基盤整備の検討]

- ・河川の氾濫による被害の発生を防ぐために、石神井川の治水機能を維持します。

● 地域の防犯力の向上

- ・防犯カメラ等の整備拡充により、地域の防犯性向上を推進します。
- ・地域住民が主体となり、子ども達の安心・安全を確保します。

[「子ども見守り隊」の継続・推進]

● 安心・安全に対する意識の向上

- ・各町会や消防・警察等の連携を強化し、防災・防犯に関する情報を地域に発信することにより、地域住民等の安心・安全に対する意識の向上を図ります。

[情報提供の場（施設）の整備・充実]

方針2 だれもがルール・マナーを守るクリーンな環境づくりの推進

- ポイ捨て・路上喫煙の防止
 - ・だれもがルール・マナーを守るクリーンな環境づくりを推進するために、ゴミ・たばこのポイ捨てや路上喫煙の防止を徹底します。

- ゴミ出しに対するルール・マナーの周知・啓発
 - ・外国人居住者等に対して、ゴミ出しや騒音に対するルール・マナーの周知・啓発を推進します。

- 石神井川の桜並木の見物客等へのマナーの周知・啓発
 - ・桜並木の見物客等に対して、近隣住民への配慮を呼び掛けることで、石神井川の桜並木を活かした地域の活性化と良好な住環境の維持の両立を図ります。